

平成 21 年 9 月 24 日 第 3 校時

第 1 学年 D 級 (男子 20 名, 女子 20 名)

指 導 者

羽 田 咲 子



1 単 元 豊かな表現の工夫

2 目 標

- 曲想や旋律から情景を想像する活動を通して、意欲的に鑑賞する態度を育てる。
- 楽曲の伴奏と情景の関連性を理解し、自分なりの表現の工夫ができるようにする。
- 比較鑑賞により、情景や登場人物の心理を表現するための工夫を理解する能力を育てる。
- 詩と音楽の組み合わせによる豊かな表現を味わいながら鑑賞ができるようにする。

3 指導観

- 本単元は、学習指導要領の第 1 学年の鑑賞の内容(1)ーア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」をねらいとして設定したものである。音楽の構成要素とは、音色、リズム、旋律、形式、テクスチャ、などのことであり、それらの構成要素における工夫はその楽曲独自の曲想を生み出すものである。したがって、その工夫について理解し、感じ取りながら鑑賞することはその楽曲の良さを味わうことにつながる。

本教材である「魔王」(ゲーテ作詞 シューベルト作曲)は、シューベルト 18 歳の時の作品である。この「魔王」には他の作曲家も曲をつけているが、その中でも最も有名なものがシューベルトのものである。シューベルトは歌曲王とも言われ、生涯で 600 曲以上にのぼる歌曲を作曲しており、特に詩のもつ世界をピアノ伴奏で表現するという点において大変優れた作曲家である。「魔王」でも馬の疾走する様子を巧みに表現するなど様々な工夫が見られ、情景と音楽を関連させて聴くことが容易である。また、普段あまり意識することのない伴奏の効果についても学ぶことで、鑑賞活動のみでなく、合唱活動においてもよりその楽曲の良さを感じ取る能力を養うことができると考えられる。さらに、「魔王」は独唱曲であるので、独唱の魅力やバリトンの豊かな響きを感じ取ることもできる楽曲である。

- 本学級の生徒は、今までにオーケストラの表現や響きを味わい、その情景を思い浮かべながら鑑賞する学習は行っている。しかし、歌曲の鑑賞は今回が初めてであり、詩と音楽の結びつきから楽曲の雰囲気をつかむことや、ピアノ伴奏が楽曲全体に与える効果を感じ取ることはこれからの学習によるところが大きい。本単元で、豊かな表現の工夫を様々な視点から分析し、感じ取る能力を養うことが必要であると考え。
- 本単元の学習では、まず前半の学習では「魔王」の伴奏についての学習を中心に、情景と音楽を関連させて聴くことや、ピアノ伴奏の役割についての理解を深めていきたい。それにより、作曲家は伴奏という普段あまり意識して聴くことない部分にまで様々な工夫をしており、伴奏とはその詩の持つ世界を形作る要素の一つであることを理解させたい。また、実際に自分なら伴奏をどのように工夫をするか考えることで、自分なりの表現の工夫ができる能力を育てたい。後半の学習では、シューベルト以外の作曲家による「魔王」と比較鑑賞をすることにより、同じ詩でも音楽によって受ける印象が違うことに気付かせたい。また、どの作曲家もそれぞれ趣向を凝らした工夫をしていることから、表現の多様さについても興味を持たせたい。さらに、独唱曲であることから、その魅力や表現力の豊かさについても理解させ、豊かな声の響きを味わいながら鑑賞が出来る能力を養い、音楽表現の面白さや可能性に結び付けていくために、本単元を設定した。

4 教材 「魔王」 (ゲーテ作詞 シューベルト作曲)

「菩提樹」 (ミュラー作詞 シューベルト作曲)

5 指導計画

豊かな表現の工夫・・・・・・・・・・・・・・・・・・全2時間

シューベルトの伴奏における表現の工夫を理解して鑑賞する。・・・・1時間（本時 1/1）

比較鑑賞から、作曲家による表現の違いを理解する。・・・・1時間

6 本時の学習指導

(1) 目標

○ 伴奏の役割について理解することで、より豊かな表現の工夫ができる。

(2) 資料及び準備

教科書、オーディオ機器、ワークシート、筆記用具、作曲者の写真、菩提樹の写真、CD、

(3) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	指導上の留意点	時間
1 「魔王」を原語で鑑賞する。 ○ 気づいたこと、感じ取ったことを発表する。	○ 意見を出しやすいよう、何人で歌っていたか等、具体的な問いかけをすることで考える場を設ける。	7分
2 作詞・作曲者、楽曲の情景について学習する。 ○ 教科書で確認しながらワークシートの空欄を埋める。	○ 楽曲についての学習がスムーズに進むよう、ワークシートを用意する。 ○ 生徒が学習内容を理解できているか確認しながら学習を進めるよう留意する。	15分
3 本時の学習内容と目標を確認する。 伴奏の役割を理解し、豊かな表現の工夫を考える。	○ 授業の見通しが持てるよう、本時の目標を板書しておく。	17分
4 「魔王」の伴奏部分について学習する。 ○ 伴奏の役割について考える。 ○ 教師の演奏を聴き、楽曲の雰囲気を作るための伴奏の役割について分析する。	○ 生徒が考えやすいよう、伴奏が無かったらどうなるかという問いかけをする。 ○ 楽曲の雰囲気を作るための伴奏の役割について分析するために、教師自身の演奏を聴く場を設定する。	25分
5 「菩提樹」の伴奏を学習する。 ○ 歌詞を全員で朗読する。 ○ 歌詞の内容から想像した情景やイメージを表現するために、伴奏をどのように工夫したら良いか、高さ・テンポ・強弱について考え、ワークシートに記入する。 ○ 自分の意見を発表する。 ○ シューベルトの「菩提樹」を聴く。	○ 歌詞の内容を確認するため、歌詞を全員で朗読する場を設定する。 ○ 歌詞から読み取った情景を自分なりに表現できるようにするため、菩提樹の伴奏を考えるとという活動を設定する。 ○ 他の生徒と意見を交流できるよう、ワークシートに意見をまとめ、発表する場を設ける。 ○ 自分が考えた伴奏との違いに着目して聴くよう助言する。	40分
6 「魔王」を原語で鑑賞する。 ○ 伴奏に着目しながら鑑賞する。 ○ ワークシートに感想をまとめ、発表する。	○ 伴奏に着目して聴くことができるよう、作曲者の伴奏に対する思いを説明する。 ○ 自分は気がつかなかったことも知ることができるよう、ワークシートに感想をまとめ、他の生徒の意見を聞く場を設ける。	48分

7 本時のまとめをする。 ○ 本時の目標を再確認し，達成できたか振り返る。	○ 本時の目標を再確認し，今後の学習活動の意欲を高めるような助言をする。	50分
---	---	------------

7 板書計画

目標：伴奏の役割について考えよう。		～菩提樹に伴奏をつけてみよう～
魔王 作詞：ゲーテ 作曲：シューベルト		テンポ 強弱 高さ その他 その理由
シューベルト の 写真	菩提樹の写真	
魔王の伴奏の楽譜		